

## 刊行にあたって

2018年11月7日、都内の研修室で Henrique Bassi 先生のレクチャーを株式会社ビーエスエーサクライのスタッフと一緒に受けていた。歯科医師は私1人だけ、通訳の説明を受けながら Bassi 先生のスライドに魅了されていた。

「日本で発売予定の Ni-Ti 製ファイルがあり、開発者の歯科医師がブラジルから来日するので会ってみませんか？」と誘われて新潟からノコノコ参加した。なぜ私を誘ったのか？ どうして私1人だけだったのか？ 深くは考えず、「当時使用していたファイルよりも安くて性能がよければ使いたい」くらいの認識だったと記憶している。実際の講義を聞いてもファイルのよさやコンセプトが理解できず（英語の読解力の問題？）、Bassi 先生が強度の彎曲根管に綺麗な根管充填をされており、海外のエンド専門医の実力を目の当たりにして驚いた。そして、実際のハンズオン（透明根管模型を使用したの拡大形成）では、自分でもびっくりするくらいたくさんのファイルを破折させてしまった。

エンド処置では少なからず自信があり、そのシークエンスも確立していた自分にとって、「このファイルは私の臨床では使えない」と口には出さずとも、そう判断していた。レクチャーが終わり、銀座で接待を兼ねた会食があり、誘われたのでホイホイとついていった。お酒を飲んで気が緩んだのか、Bassi 先生に「今日のレクチャーだけでは到底理解できない。私をブラジルに連れて行ってきちんと教えてほしい」と偉そうなことを言ったら、「OK！ 待っているよ！」というようなことを言ってくれた。そのときはリップサービスくらいにしか思わず、銀座で接待されたことを嬉しく思いながら新潟に帰った。

半年後、私は日本から42時間かかるブラジルの Bassi 先生のオフィスに、愛知県の月星太介先生とともにいた。ゴールデンウィークを利用しての渡伯で、朝から晩までの講義と実習、工場では生産工程や開発の話聞き、そして Bassi 先生のオフィスでの治療の見学と、超濃密な4日間を過ごした。日本であれだけ折ったファイルも、そのコンセプトや取り扱い方、クセなどを理解すると、どんな根管でも折らなくなり、圧倒的なスピードで拡大形成を終わらせることができた。

充実した連休をブラジルで過ごし、素晴らしい思い出を胸に帰国。東京で通訳兼コーディネーターの M 氏、月星太介先生、株式会社ビーエスエーサクライの社長と慰労会を行い、その席で私の東日本でのセミナー講師の契約が決まり、現在に至る。延べ1,000人以上のセミナー受講者がおり、現在も増え続けているのはバシロジックエンドファイルシステムの性能だけではなく、多くの協力者、講師の月星太介先生、坂本 渉先生のお陰だと思っている。

バシロジックファイルが歯内療法に悩む日本の臨床家にとって第一選択となり、本書がバシロジックエンドファイルシステムの導入テキストとしてご活用いただけることを願っている。

2024年4月

執筆者代表 佐久間利喜



左から Bassi 先生、3人目が佐久間、4人目が月星先生



Bassi 先生と坂本先生

## 刊行に寄せて

歯内療法学における卓越性の追求は、絶え間ない革新と改善の道のりです。高品質な根管治療器具の開発はこの道の基盤であり、必要性、効率性、安全性が指針となっています。バシロジックエンドファイルシステムは、歯内療法の進化におけるランドマークとして登場し、技術的な進歩だけでなく、低侵襲治療の理念にも合致しています。

現代の歯内療法は、歯質の保存と根管の清掃・形成の有効性ととのバランスという困難な課題に直面しています。Ni-Ti 製ロータリーファイルによるバシロジックエンドファイルシステムは、これらの課題に見事に対応しています。低侵襲治療の理念を維持しつつ、効率性と安全性を両立させています。バシロジックエンドファイルシステムは、品質と革新へのコミットメントを反映し、広範な研究と臨床前試験の結果として誕生しました。

バシロジックエンドファイルシステムの重要性は、歯内療法における標準化の問題にどのように取り組んでいるかという点でもあきらかです。2010年代初頭、「シングルファイルシステム」という概念が誕生しました。このシステムは、とくに一般開業医の間でシンプルさと習得時間の短さから人気を博しましたが、大きな限界もありました。また、根管形成に標準化されたアプローチを推進していたため、根管特有の解剖学的な多様性を無視していました。しかし、バシロジックエンドファイルシステムの背後にある哲学は、根管を器具に合わせるのではなく、根管に器具を合わせることであり、各歯の独特な解剖学的形態を尊重し、より個別化された効率的な治療を提供します。

バシロジックエンドファイルシステムの革新は、その機能性に限定されたものではありません。ファイルのデザインと製造に使用される技術は、エンドドントリストが根管治療にアプローチする方法の質的な飛躍を意味します。バシロジックファイルの精度と耐久性により、一貫性のある安全な根管形成が可能になり、器具破折などの合併症のリスクも低減します。

さらに、バシロジックエンドファイルシステムは、エンドドントリストの臨床ルーティーンにとって不可欠な要素である、人間工学と実用性を重視しています。その使いやすさは、治療時間を節約するだけでなく、歯科医師と患者の双方に快適な治療を提供します。バシロジックエンドファイルシステムは、有効性や安全性、実用性の組み合わせにより、治療に最善を尽くしたいエンドドントリストにとって比類のない選択肢となります。

バシロジックエンドファイルシステムは、歯内療法学における大きな進歩なのです。必要性や効率性、現代の歯内療法哲学への適合性など、優れた製品の本質を体現しています。そして、これは歯内療法学の継続的な進歩の証であり、専門家の現在のニーズに応えるだけではなく、歯内療法学の未来の新しい基準を設定するためのツールでもあります。

バシロジックエンドファイルシステムを日本市場に導入できることをたいへんうれしく思います。株式会社ビーエスエーサクライのご支援をいただき、歯内療法学のための素晴らしいシステムと、その主要な原理を普及・指導するのに最適なパートナーであることを確信しています。バシロジックエンドファイルシステムが日本の歯科界の歯内療法と日本の健康社会に貢献できることを願っています。

また、友人である佐久間利喜先生、月星太介先生、坂本 渉先生の情熱と、日本の歯科界にバシロジックエンドファイルシステムを広めることに尽力してくれたことに対し、心から感謝の意を表したいと思います。

ヘンリケ・アルトゥール・アゼベド・バシ D.D.S.